

3.5 型 /2.5 型 SATA 対応内蔵用ハードディスク セットアップガイド

LHD-WD_3Y_SG_V01

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
このセットアップガイドには、本製品の仕様や取り扱い方法について記載しておりますので、必ずお読みください。

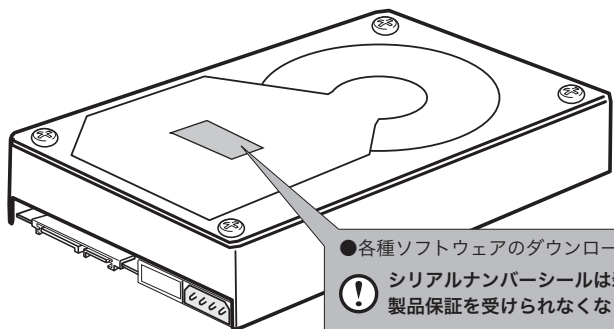
！ ご注意 ハードディスクは、静電気や衝撃に大変デリケートな精密機器です。
細心の注意を払ってお取り扱いください。

！ バックアップ（データの複製）のお願い

本製品の使用によって生じたお客様の保存データの消失、破損については、理由を問わず一切保証いたしかねます。
ウイルス、誤操作、落雷などの自然災害、盗難、経年劣化や不慮の事故等によるデータの消失に備え、必ず定期的に別のハードディスクへバックアップ（データの複製）を行ってください。
別のハードディスクへ複製を作成しておくことでオリジナルデータを失ってもデータ消失による損害を低減することができます。

パッケージ内容

パッケージには以下のものが含まれています。



●各種ソフトウェアのダウンロードに必要です。
シリアルナンバーシールは剥がさないでください。
製品保証を受けられなくなります。

- ハードディスク
- ※本製品は精密電子機器です。
輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

■製品仕様

インターフェース	Serial ATA III (6.0Gbps)
環境条件	動作時 温度：5℃～35℃ 相対湿度 20～80% (ただし、結露なきこと)
	保管時 温度：-20℃～50℃ 相対湿度 20～80% (ただし、結露なきこと)
入力電圧	DC 5V ±5% DC12V ±10%
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	3.5 インチモデル：102x147x27(以下)mm 2.5 インチモデル：69.85x100.2x15(以下)mm

対応パソコン

- ・ Windows パソコン
- ・ Mac

<対応 OS 情報は、弊社ホームページの各製品ページをご確認ください>

※Serial ATA インターフェースを搭載していることが必要です。
※増設する場合は、ドライブベイに空きがあることと、別途ケーブルが必要です。
※6.0Gbps 転送を行う場合には、インターフェースが SATA III に対応している必要があります。

ソフトウェアについて

※ここでご紹介するソフトウェアは Windows 環境でのみご使用になれます。

本製品は、ハードディスクユニットを快適に使用するためのソフトウェアをダウンロード版にてご提供しております。ここでは、それぞれのソフトウェアの内容、ダウンロードアドレスについて説明します。なお、ダウンロードには製品のシリアル番号が必要な場合がございます。本製品のシリアル番号は製品表面をご確認ください。

■ HDD データ簡単消去ツール Logitec ディスクデータイレイサ

ダウンロードアドレス：
<https://dl.logitec.co.jp/download.php?pn=LST-D-905>



HD ドライブに書き込まれたデータは、フォーマットを行った後でさえ、復旧できる可能性があります。「Logitec ディスクデータイレイサ」は、増設 HD ドライブの全セクタに、ランダムデータを上書きして元のデータの消去をおこないます。元データに異なる内容のデータが上書きされますので、パソコンで元データの読み出しをおこなうことはできない状態になります。増設 HD ドライブの破棄や譲渡を行う場合、データの漏洩防止対策に役立ちます。

■ 簡単フォーマットツール： Logitec ディスクフォーマッタ

ダウンロードアドレス
<https://dl.logitec.co.jp/software.php?pn=LST-D-107>



ハードディスクのフォーマットや、フォーマット情報の削除、パーティションの作成など、フォーマットに関する設定を簡単な操作で実行できるツールです。

■ 簡単バックアップツール Logitec フォルダミラーリングツール

ダウンロードアドレス：
<https://dl.logitec.co.jp/download.php?pn=LST-D-901>



フォルダ単位でのミラーリング環境を提供する、簡単バックアップツールです。
指定されたフォルダを監視して、変更されたファイルをバックアップ先のフォルダに自動的にコピーします。ファイルの変更を検出した時点でコピーをおこない、コピーは全て自動でおこなわれるため、バックアップ作業を特に意識する必要はありません。

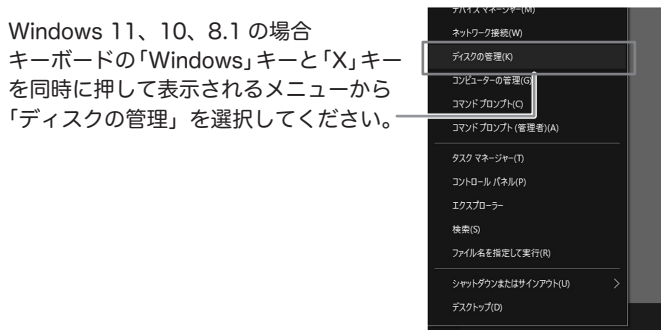
ハードディスクのフォーマット

本製品は初めてパソコンに接続する際、そのままでは接続先の機器からは認識されません。ここでご紹介する手順を参照し、ハードディスクを初期化（フォーマット）してください。

- フォーマットとは、接続先の機器で本製品へアクセスすることができるようにハードディスクを認識させる作業です。
- フォーマット形式や手順は接続先の機器により異なります。詳細は接続する機器の取扱説明書などをご参照ください。

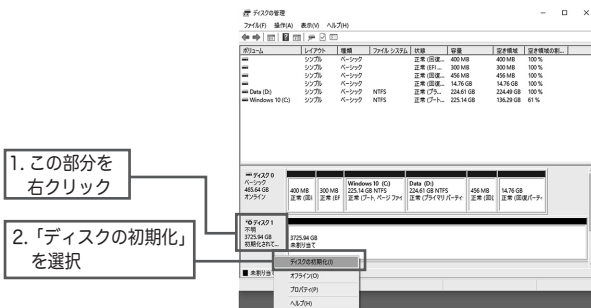
Windows 環境でのフォーマット手順

①本製品を接続し、以下の手順で「ディスクの管理」画面を開いてください。



Windows 11、10、8.1 の場合
キーボードの「Windows」キーと「X」キーを同時に押して表示されるメニューから「ディスクの管理」を選択してください。

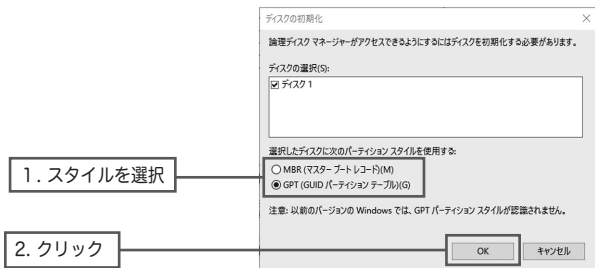
②初期化されていないハードディスクがあることを確認し、ディスクを右クリックして「ディスクの初期化」を選択してください。



※ディスクの初期化画面が表示される場合は手順3へおすすみください。

③「ディスクの初期化」ウィンドウが表示されますのでパーティションスタイルを選択し、「OK」をクリックしてください。

MBR (マスターブートレコード)：2TB 以下のディスクを使用する場合
GPT (GUID パーティションテーブル)：2TB 以上のディスクを使用する場合



④初期化が完了するとディスクがオンラインとなりますので、「未割り当て」の部分をクリックして「新しいシンプルボリューム」を選択してください。



⑤「新しいシンプルボリュームウィザード」が起動しますので、画面の指示に従い、ドライブレターやフォーマットタイプを選択してハードディスクのフォーマットを行ってください。



- フォーマット時の各種設定については Windows のヘルプをご参照ください。
- フォーマットには「Logitec ディスクフォーマッタ」(Windows 専用)をご利用いただくことも可能です。

Logitec ディスクフォーマッタ (Windows 専用)
<https://dl.logitec.co.jp/software.php?pn=LST-D-107>



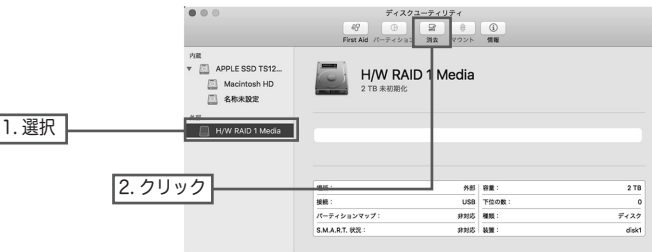
ハードディスクのフォーマットや、フォーマット情報の削除、パーティションの作成など、フォーマットに関する設定を簡単な操作で実行できるツールです。

Mac 環境でのフォーマット手順

①本製品を接続すると「セットしたディスクは、このコンピュータで読み取れないディスクでした。」と表示されます。「初期化」をクリックしてください。



②ディスクユーティリティが起動します。外部ディスクから本製品を選択し、「消去」をクリックしてください。



③ディスク消去の確認画面が表示されます。名前を入力し、フォーマットと方式を選択して「消去」を選択します。



- 「名前」は本製品が Mac にマウントされる際の表示名になります。
- フォーマットは、「APFS」または、「Mac OS 拡張 (ジャーナリング)」を選択してください。
- 方式には「GUID パーティションマップ」を選択してください。

④フォーマットが実行され、完了するとデスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。

⑤以上でハードディスクのフォーマットは完了です。



